機械系教職員との連携・交流会　第 13 回機機械会　開催報告

『循環型社会形成に貢献するリサイクル技術』

工学部 機械工学科 教授　小林 潤 先生

機械系教職員との連携・交流会、第 13 回機機械会を 2023 年 12 月 2 日（土）に開催しました。新宿キャンパスに 7 名、オンラインで 3 名、計 10 名の校友が参加しました。

今回は工学部機械工学科教授 小林 潤 先生に「循環型社会形成に貢献するリサイクル技術」と題してご講演いただきました。小林先生はリサイクル工学研究室にて、廃棄物のリサイクル技術やバイオマス資源の利活用技術について研究をなさっています。

講演では、身近な話題である「ごみ」について、廃棄物処理の最新動向や各自治体の取り組みを紹介いただきました。特に、廃棄物からエネルギーを回収できる廃棄物焼却発電について詳細に解説いただき、効率を高めるために廃棄物処理施設の大規模化や集約・統合が進んでいること、高効率化や耐久性向上にはまだまだ課題があることについてお話がありました。

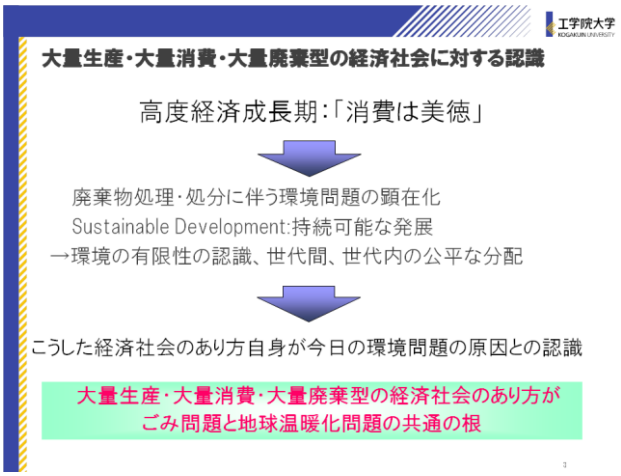
また、講演の最後に、コロナ禍で学内に入構禁止になり完全リモート授業となった際、一次元非定常熱伝導の実験を各学生が自宅で行った事例を紹介いただきました。熱伝導の数値解析にて解析条件を検討して卵の内部温度分布を求め、理想的な半熟卵にするための加熱時間を算出した上で、実際に半熟卵を作るという内容です。従来は学内で鋼球とアクリル球を用いて行っていた熱伝導の実験を、工夫により自宅で代替できた成功事例を紹介いただきました。

講演後はお菓子を食べながら歓談を行い、参加者から多くの質問がありました。身近な話題なだけに参加者の関心も高かったものと思います。

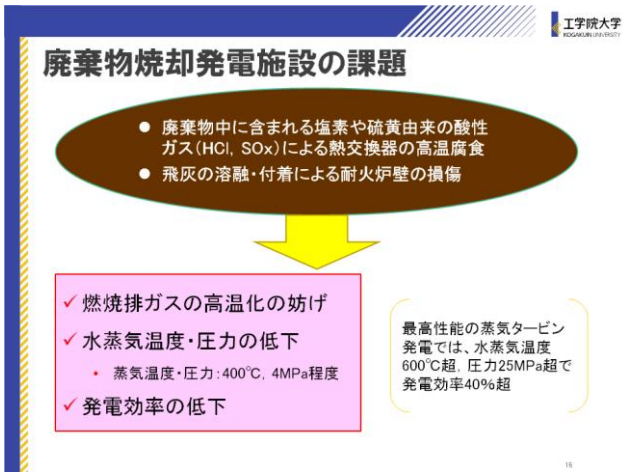
この度は、講演を快諾いただいた小林先生に改めてお礼申し上げます。

講演者の小林先生

講演中の様子



講演スライドの一例



講演スライドの一例

講演スライドの一例

挨拶する成田 機械系同窓会会長

参加者の皆様